



2023年11月22日

各 位

会 社 名 株式会社 地域新聞社  
代表者名 代表取締役社長 山田 旬  
(コード 2164)  
問合せ先 管理本部本部長 江澤 務  
(TEL. 047-485-1107)

## 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月20日にグロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2023年8月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年8月末時点におけるグロース市場の上場維持基準の適合状況は、「時価総額」について7.8億円、「流通株式時価総額」について4.1億円と適合していません。

「時価総額」については2022年8月末時点から引き続き適合しておらず、「流通株式時価総額」については2023年8月末時点で新たに適合条件を満たしていない項目となります。

当社は、「時価総額」「流通株式時価総額」に関し、当初計画のとおり、2026年8月期までに上場維持基準を充たすための各種取り組みを実施してまいります。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取り組みの実施状況及び評価（2022年9月～2023年8月）

当社は、2022年11月17日に公表した「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」において、上場維持基準の適合に向けた基本方針とその進捗を報告しております。

基本方針では、「事業計画及び成長可能性に関する事項」に基づき、コア事業強化による安定収益の確保に努め、成長事業であるWEB事業、HR事業、マッチング事業への経営資源の投下による成長スピード加速を図るとともに、情報開示の充実・他社との協業や提携によるサービス創出により、企業価値を継続的に向上させることで「時価総額の向上」を図るとしてあります。また、新株予約権の発行等の資本政策を通じ、「発行済株式数の増加」についても施策を実行す

るとしております。

グロース市場の上場維持基準の充足に向けた「時価総額」「流通株式時価総額」の向上に係る取り組みの基本方針、課題及び取り組みの進捗については、添付の「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載のとおりです。企業価値向上の施策につきましては、10月27日に提出しております「事業計画及び成長可能性に関する事項」の資料でもより詳細に説明させていただいております。

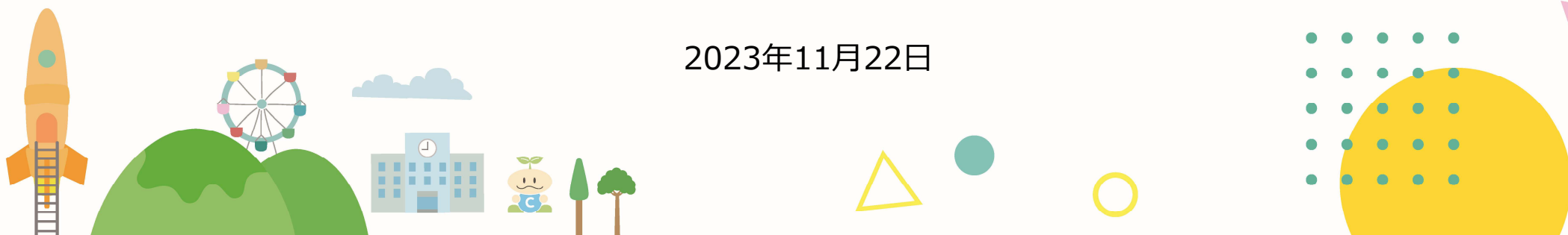
※本資料で開示されている将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において、入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

私とあなたの真ん中に

Chi-iki

# 上場維持基準の適合に向けた計画に基づく 進捗状況について

2023年11月22日



## 【上場維持基準の適合状況】

当社の基準日(事業年度末日2023年8月31日)におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況<sup>(1)</sup>は、「時価総額」「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

時価総額…2022年8月末時点から引き続き上場維持基準を満たしていない項目

流通株式時価総額…2023年8月末時点で新たに上場維持基準を満たしていない項目

	基準日	グロース市場上場維持基準	当社の数値
時価総額	2023年8月31日	40億円	7.8億円
流通株式時価総額	2023年8月31日	5億円	4.1億円

注)

1 上場維持基準(時価総額基準)への適合状況について

(株式会社東京証券取引所より、2023年9月5日付、9月20日付 受領)

## 【計画期間】

上場維持基準を充たすための計画期間を、「**2026年8月期末**」までとし、本計画書に記載する各種取り組みを進めてまいります。

上場維持基準を充たしていない「時価総額」の構成要素

『時価総額』 = 『株価』 × 『発行済株式数』

『流通株式時価総額』 = 『株価』 × 『流通株式数』

### 【基本方針】

「事業計画及び成長可能性に関する事項（2023年10月27日開示）」に基づき、コア事業強化による安定収益の確保に努め、成長事業であるWEB事業、HR事業、マッチング事業への経営資源の投下による成長スピード加速を図るとともに、情報開示の充実・データベースの活用や新規サービス創出により、企業価値を継続的に向上させることで「時価総額の向上」を図ります。

また、新株予約権の発行等の資本政策を通じ、「発行済株式数の増加」「流通株式数」についても施策を実行することで、グロース市場の上場維持基準適合を目指します。

### (1) 『株価』向上に向けた現状の課題及び取り組み

企業価値を向上させるとともに、株式市場で適正な評価を得ることが課題であると認識しております。よって、当該課題の解決のため、以下取り組みの実施を掲げております。それぞれ2023年8月期の取り組み及び2024年8月期以降の計画については5P以降をご参照ください。

- ①中期経営計画の実行による業績向上
- ②IR及びPRの強化
- ③株主還元施策

### (2) 『発行済株式数』『流通株式数』増加に対する現状の課題及び取り組み

当社発行済株式数、流通株式数の増加については、新株予約権発行に対する行使の進捗が課題であると認識しており、当該課題の解決のためには、資本政策の強化が必要であると考えております。

2023年8月期の取り組み及び2024年8月期以降の計画については21P以降をご参照ください。

## ①中期経営計画の実行による業績向上

### (1) 『株価』向上に向けた現状の課題及び取り組み

#### ①中期経営計画<sup>(1)</sup>の実行による業績向上

「中期経営計画」を推進し、掲げている各事業における重点戦略を実行することで数値計画を確実に達成し、収益性の向上を図ります。また、中期経営計画で開示している2024年8月期以降も成長事業の拡大を軸として業績を伸ばすことで株価の向上を図ります。

注)

- 1 「事業計画及び成長可能性に関する事項」  
(2023年10月27日開示)

### ア) 中期経営計画の重点戦略及び概要

#### 重点戦略

コア事業  
WEB事業  
マッチング事業  
HR事業  
行政関連

インサイドセールスの強化、中大口顧客の獲得  
「チイコミ」を中心としたウェブマーケティングの販売強化  
提供ジャンルの拡大と発行エリア外サービスの育成  
求人媒体の拡大及び関連事業の成長速度UP  
自治体との関係強化、受託案件の拡大

## ① 中期経営計画の実行による業績向上（数値目標）

## 数値目標

2026年8月期（最終年）に

**売上高 40億円、営業利益 2億円**の目標を達成し、収益改善を図ります。

中期経営計画で掲げている売上総利益率の高い成長事業（WEB事業、HR事業、マッチング事業）の構成比を上げることで、経常利益率（営業利益率）を約5%まで引き上げることを目指します。

	2021年8月期 （実績）	2022年8月期 （実績）	2023年8月期 （実績）	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期 （最終年）
売上高	2,788	2,887	2,926	3,047	3,500	4,000
営業利益	▲51	9	▲20	16	114	200
経常利益	▲50	7	▲47	14	108	194
当期純利益	▲86	8	▲50	12	65	110



## ① 中期経営計画の実行による業績向上（2023年8月期進捗）

### 2023年8月期業績進捗

- ✓ 売上高は中大口顧客の需要が想定より伸び、業績予想比で**順調に進捗**
- ✓ 発行回数の少ない8月の業績が伸びなかったため、通期での黒字には届かず
- ✓ 埼玉エリアの撤退費用を想定以上に抑えることができたため、**営業利益以下は業績予想を上回る**

(百万円)	2022年8月期	2023年8月期 (業績予想)	2023年8月期 (実績)	前期比 増減額	前期比 増減率	予想比 増減額	予想比 増減率
売上高	2,892	2,862	2,926	38	101.3%	63	102.2%
営業利益	9	▲64	▲20	▲30	-	43	-
経常利益	7	▲94	▲47	▲55	-	46	-
当期純利益	8	▲109	▲50	▲59	-	58	-

※2023年8月期業績予想は2023年3月7日公表の数値となります

## ① 中期経営計画の実行による業績向上（2023年8月期進捗）

2023年8月期の業績につきましては、当初の計画値から差異が生じ、期中に業績予想の変更を行いました。

変更に至る理由及び経緯は以下のとおりとなります。

### （新聞発行业）

- ・ コロナ禍からの回復に時間を要している中小規模顧客の取引回復が想定通りには進まず、不採算の状態が継続していた埼玉エリアの発行を2023年2月に休止
- ・ 原材料・輸送コストの高騰を背景として、新聞印刷コストが上昇

### （WEB事業）

- ・ コミュニティサイト「チイコミ！」のリニューアル過程で人員補充、機能強化投資を当初計画よりも前倒しで実施

### （HR事業）

- ・ 成長事業の中でも最も成長率が高く、さらに成長率を高めるため人員補充を実施

折込チラシ配布事業は当初計画を上回ったものの、休止エリアの売上高減少及び事業所閉鎖による一時費用を織り込み、業績予想の修正を行いました。

## ① 中期経営計画の実行による業績向上（2023年8月期進捗）

2023年8月期は利益を確保しながら成長事業への投資を手厚く行い、①コア事業の回復・成長、②成長事業のスピード加速、③新規事業開発によるチャネル強化を軸として成長に取り組みました。それぞれの進捗は以下の通りです。

### ① コア事業の回復・成長

- ✓ 不採算エリアの整理による利益率改善のため**埼玉エリアでの発行を休止**
- ✓ 折込チラシ配布事業の売上高が継続伸展（**前期比7.4%増**）
- ✓ ターゲットを絞った媒体の発行増（**前期比64.4%増**）

### ② 成長事業のスピード加速

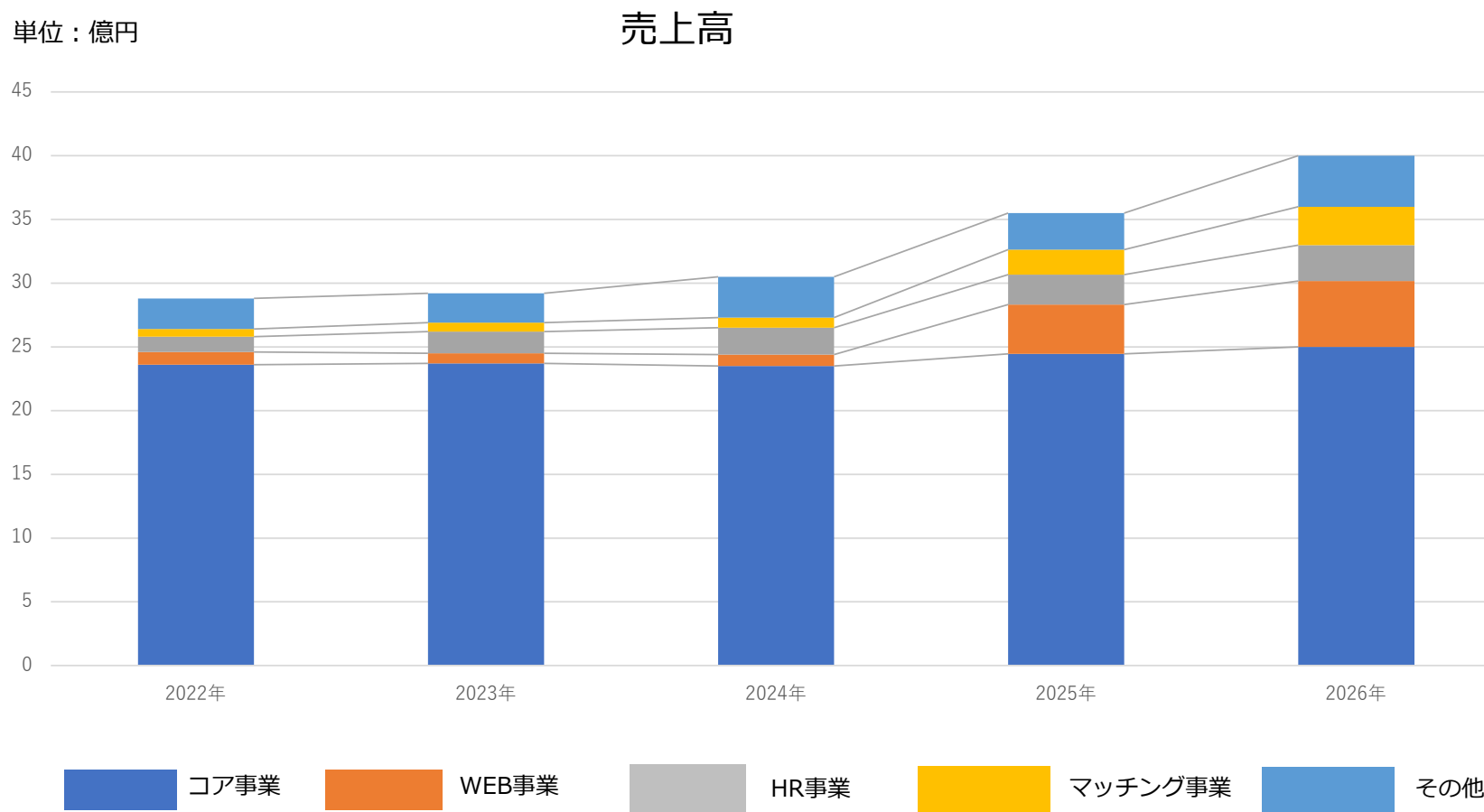
- ✓ 求人媒体「Happiness」の発行頻度増計画の前倒し（**売上高前期比30.8%増**）
- ✓ データベースを整備し、顧客情報・ユーザー情報・配布員情報等を蓄積・整理
- ✓ コミュニティサイト「チイコミ」のリニューアル

### ③ 新規事業開発

- ✓ 富裕層向け情報誌「**AFFLUENT**」の発行を開始
- ✓ 発行エリア外での外壁塗装マッチングサービス「**とそふお**」のスタート

# ① 中期経営計画実行による業績向上（売上高計画値）

成長事業であるWEB事業・HR事業・マッチング事業を強化し、2026年に売上高**40億円**



## ① 中期経営計画実行による業績向上（セグメント別売上高計画値）

単位：億円

### 中長期シナリオ売上高推移

	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期	2026年 8月期
コア事業	22.7	23.1	23.7	23.5	24.4	25.1
WEB事業	1.3	1.1	0.8 <sup>(※1)</sup>	0.9	3.8	5.1
HR事業	0.8	1.1	1.7	2.1	2.3	2.8
マッチング事業	0.4	0.7	0.7	0.8	1.9	3.0
その他	2.3	2.6	2.3	3.2	2.8	4.0
合計	27.5	28.6	29.2	30.5	35.2	40.0

※1 2023年8月期はコミュニティサイト「チイコミ！」のリニューアル準備に伴う減収となっています。

## ① 中期経営計画実行による業績向上（前回開示からの変更点）

（コア事業）埼玉エリアでの発行休止を受け、一時的な売上減少の影響を想定

（WEB事業）販売強化施策の効果が表れるまでにやや時間を要すると想定

（HR事業）想定を超えるスピードで事業成長が見られるため計画を上方修正

（マッチング事業）新規サービスの定着期間を一定期間想定

（その他事業）行政関連の業務受託が伸展していることを受け計画を上方修正

単位：億円

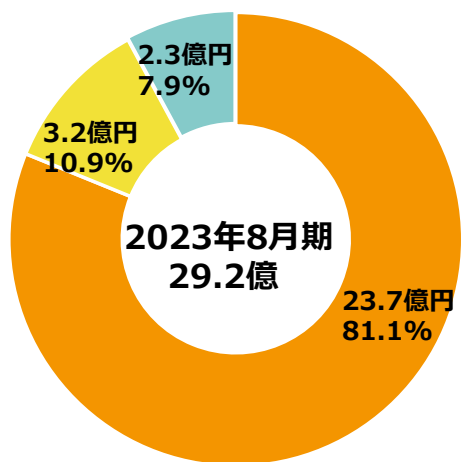
	2023年8月期 （前期開示）	2023年8月期 （実績）	前期開示差異	2024年8月期 （前期開示）	2024年8月期 （当期計画）	前期開示差異
コア事業	23.5	23.7	0.2	24.1	23.5	-0.6
WEB事業	1.5	0.8	-0.7	2.8	0.9	-1.9
HR事業	1.4	1.7	0.3	1.8	2.1	0.3
マッチング事業	1.0	0.7	-0.3	1.4	0.8	-0.6
その他	2.6	2.3	0.3	2.1	3.2	1.1
合計	30.0	29.2	-0.8	32.2	30.5	-1.7

※2025年8月期、2026年8月期の計画値については前回開示から変更ありません

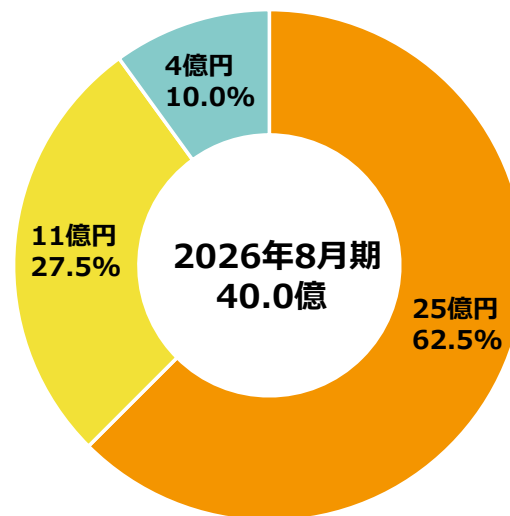
# ① 中期経営計画実行による業績向上（売上構成比）

成長事業の売上構成比増により収益性向上  
2026年の売上構成比を現在の10.9%から**27.5%**へ

## 売上高



2023年8月期（実績）



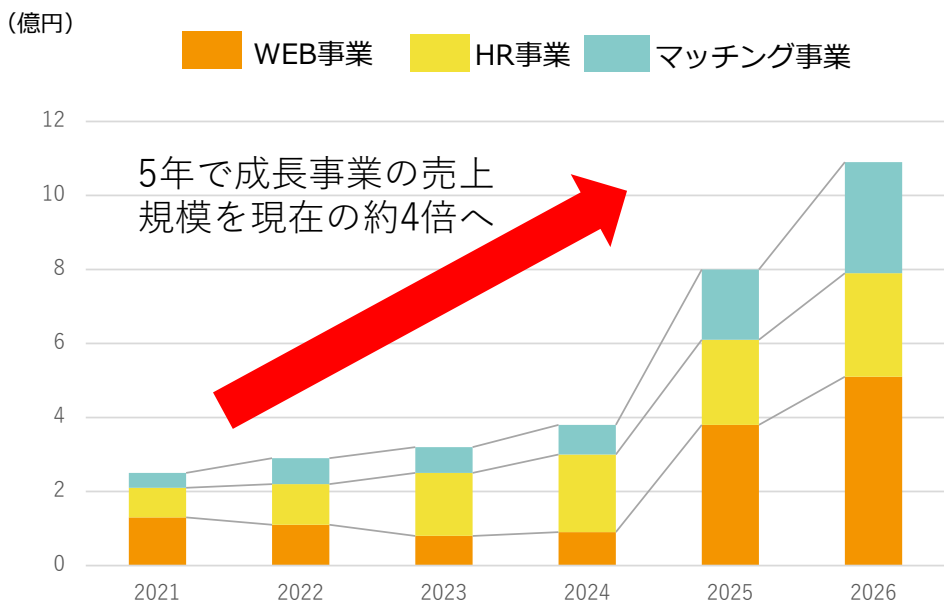
2026年8月期（計画）

- コア事業
- 成長事業
- その他

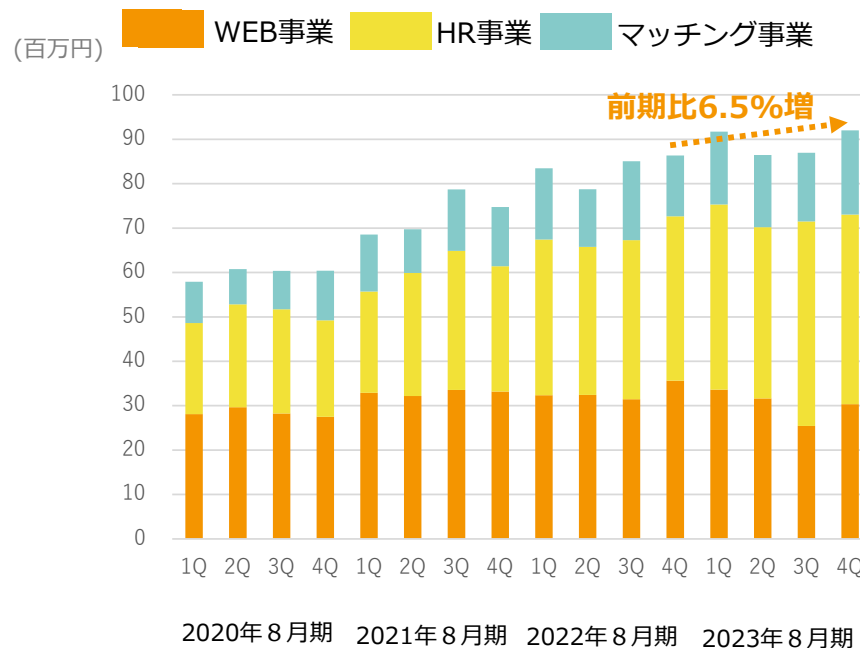
# ①中期経営計画実行による業績向上（成長事業計画値）

成長事業への重点投資で成長スピードを加速  
2026年の売上を**11億円**へ

## 成長事業売上計画



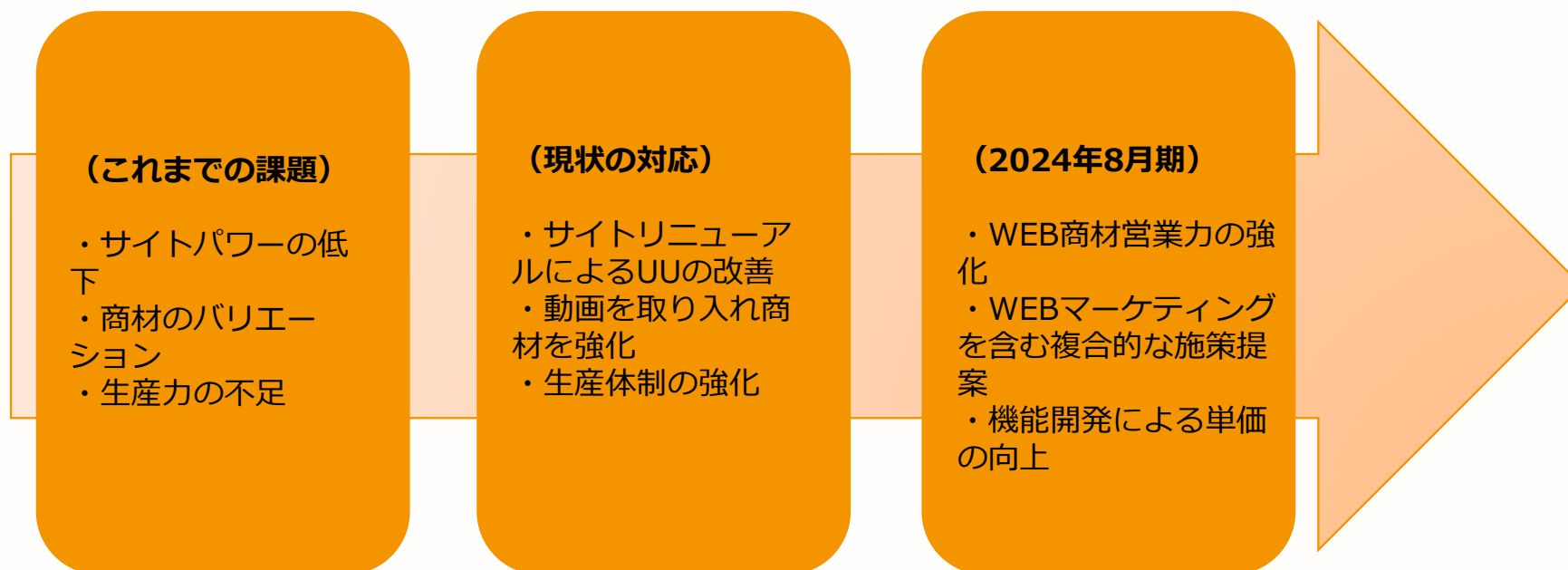
## 成長事業売上実績





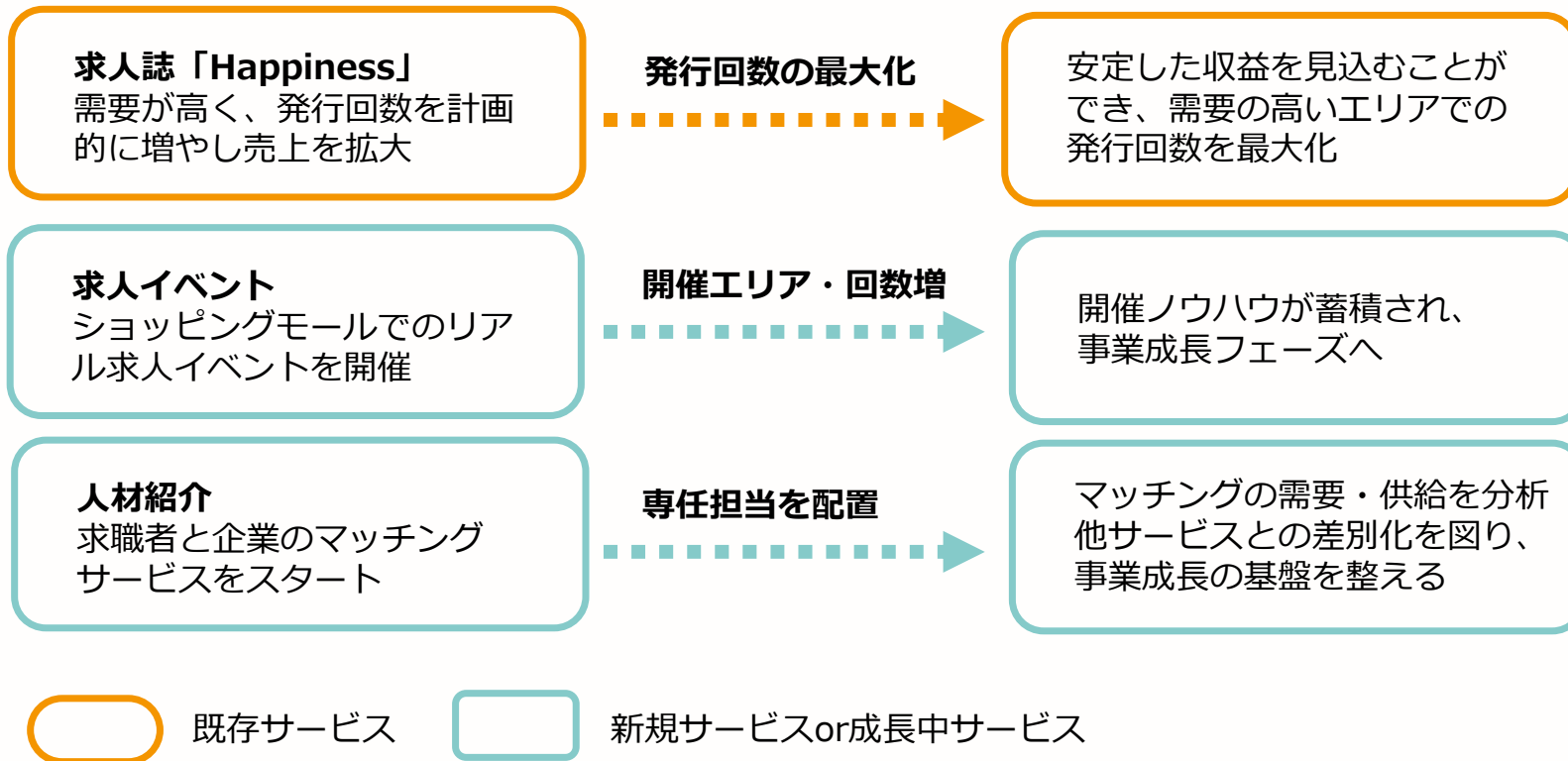
## ①-1 WEB事業成長戦略

- ✓ 「チイコミ」リニューアルは2023年2月に完了
- ✓ 新サービスの動画コンテンツ生産体制整備に時間を要し、販売計画は予定を下回る
- ✓ 2024年8月期は「チイコミ」リニューアルによる投資回収フェーズ
- ✓ 「チイコミ」を中心とし、WEBマーケティングを含む複合的な提案によりWEB事業全体の成長を図る
- ✓ HP制作の生産体制を確保し、顧客単価UPを図る



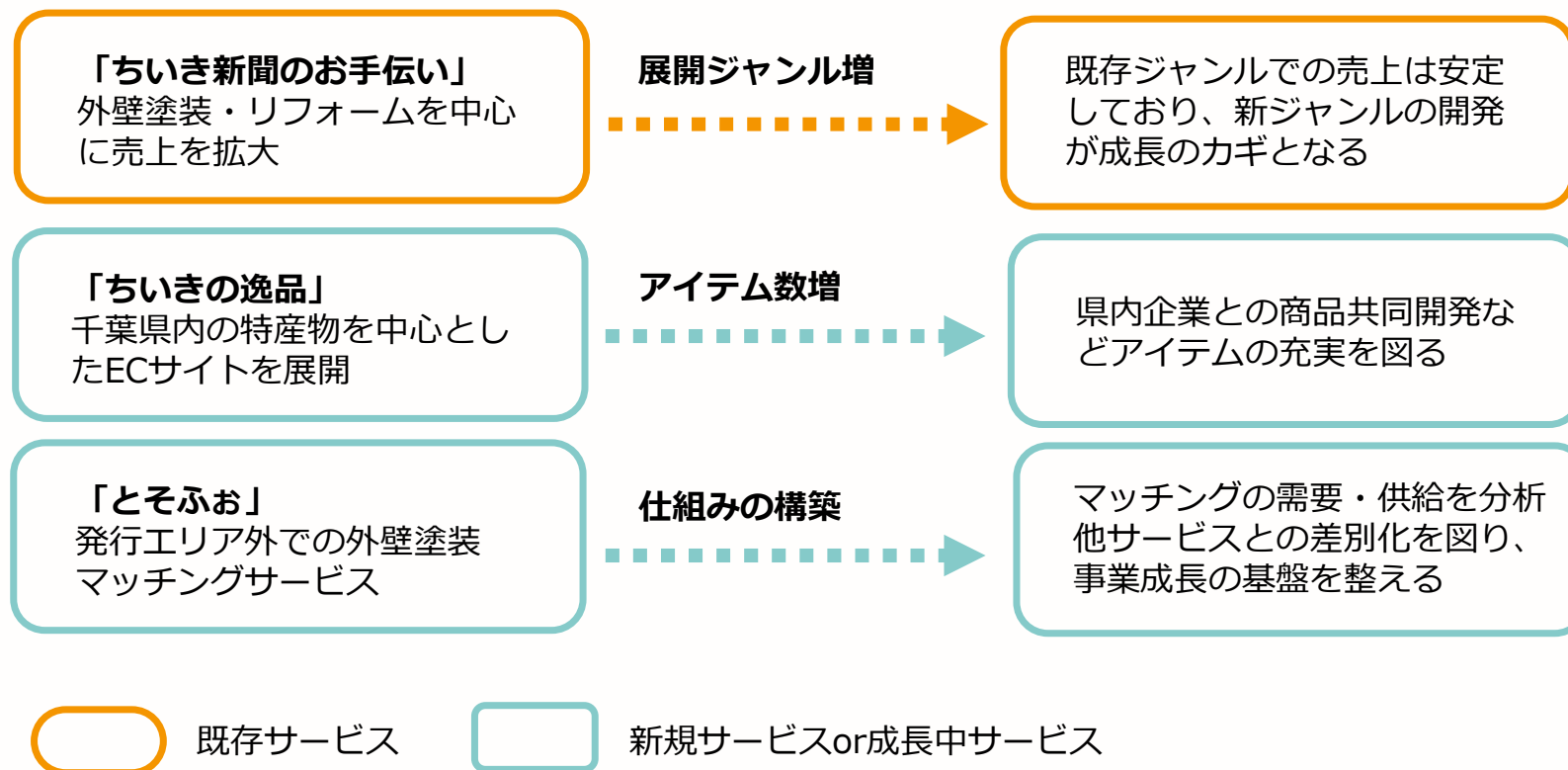
## ①-2 HR事業成長戦略

- ✓ 「Happiness」の発行回数・発行頻度は予定を上回るスピードで進捗
- ✓ 2023年8月期にHR事業の新たなサービスとして求人イベント・人材紹介をスタート
- ✓ 事業として成熟しつつある「Happiness」に加え、求人イベント・人材紹介は大きな伸びしろあり



## ①-3 マッチング事業成長戦略

- ✓ 既存サービスは順調に伸展、ちいきの逸品以外の新ジャンル開発は別施策実施のため優先順位を変更
- ✓ 新規施策として外壁塗装マッチングの発行エリア外サービス「とそふお」をスタート
- ✓ 発行エリア内での拡大を主軸として発行エリア外での拡大にも力を入れ、成長スピードの加速を図る



## ②IR及びPRの強化

### (1) 情報開示の充実

持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図る観点から、情報開示の充実に努めます。施策として、機関投資家に向けたオンラインの決算説明会を2021年10月より開始しております。

【2023年8月期取り組み】

機関投資家説明会：2023年10月

(次回開催予定：2024年4月)

個人投資家説明会につきましても開催を検討しており、タイムリーな情報開示と投資家の皆様への判断に資する中期経営計画の継続的な進捗状況開示につきましても「事業計画及び成長可能性に関する事項」の更新に加え、四半期の決算補足説明資料でもその進捗を公開しております。

(参考) 決算補足説明資料

<https://chiikinews.co.jp/ir/library/lib02/>

### (2) 認知度向上施策

IR情報に加え、当社実施施策、CSR活動、調査報告等、社内リソースを活用したPR情報開示の数を増やし、幅広い投資家の方に当社への興味・期待を持っていただけるような情報開示の充実を図ります。

【2023年8月期の取り組み】

2022年9月～2023年8月で18本のPR情報開示を実施しました。

2023年9月～2024年8月では40本のPR情報開示を目標としております。

### 直近でのPR開示事例

地域新聞社が敬老の日川柳コンテストを実施 優秀作品 10 句を『ちいき新聞』9/15 号で発表  
地域新聞社が「千葉限定キャリアインカレ 2023」に参加 千葉県内の学生のキャリア教育に貢献  
地域新聞社が千葉県警察本部と安全・安心なまちづくりに関する協定を締結 防犯情報等の周知により地域社会への貢献を推進

### (3) 対話の推進

決算説明会における機関投資家への事業・業績説明にとどまらず、当社コーポレートサイトに寄せられた投資家の皆様からのご質問に対し、当社の持続的な成長方針について丁寧な対話を推進してまいります。

### ③株主還元施策

成長事業に対する投資を、積極的かつタイムリーに行うための内部留保の確保をしつつ、中期経営計画の進捗スピードを高めることで業績向上、収益性向上（キャッシュフローの改善）を図り、早期に復配、及び一株当たり配当額の引き上げを目指します。

#### <当社配当基本方針>

当社の利益配分に関する基本方針につきましては、業績や配当性向、将来の事業展開などを総合的に勘案しながら安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。

## 具体的な取り組み内容（2023年8月期進捗）

### （2）『発行済株式数』『流通株式数』増加に対する取り組みの進捗

2022年10月24日付「ノンコミットメント型ライツ・オフアリングに関するお知らせ」で資金調達の主な使用用途・計画について以下の通り開示をいたしました。

- ①収益獲得が見込める領域の営業力強化
- ②DX関連事業の積極推進
- ③新聞等発行事業の対象エリアの拡張

投資予定スケジュール（単位：百万円）

	2023年8月期	2024年8月期	2025年8月期
収益が見込める領域の営業力強化	2	62	47
DX関連事業の積極推進	10	76	31
新聞等発行事業の対象エリアの拡張	-	4	6

ノンコミットメント型ライツ・オフアリングにて調達できた資金は想定を下回り、以下の通りとなりました。

払込金額の総額（円）	発行諸費用の総額（円）	差引手取額（円）
31,850,462	21,798,214	10,052,248

調達できた資金と計画値に差異が生じたため、2023年7月10日に「ノンコミットメント型ライツ・オフアリングによる調達資金の資金使途変更に関するお知らせ」を開示いたしました。

資金使途変更の概要については次ページをご参照ください。

## 具体的な取り組み内容（2023年8月期進捗）

### （資金使途変更の概要）

調達した資金については収益獲得が見込める領域の営業力強化に充当いたしました。

変更前計画（単位：百万円）※変更前計画は2023年4月3日公表の「ノンコミットメント型ライセンス・オファリングにより発行する第5回新株予約権の行使価額確定に関するお知らせ」にて記載した計画内容になります

具体的な使途	金額	支出予定時期
収益獲得が見込める領域の営業力強化	82	2023年5月～2025年4月
DX関連事業の積極推進	117	2023年5月～2025年4月
新聞等発行事業の対象エリアの拡張	10	2024年1月～2025年4月
財務基盤強化のための長期借入金の返済資金	66	2023年5月～2025年4月
合計	275	

変更後計画（単位：百万円）

具体的な使途	金額	支出予定時期
収益獲得が見込める領域の営業力強化	10	2023年5月～2025年4月
DX関連事業の積極推進	-	2023年5月～2025年4月
新規事業の開発及び初期投資	-	2023年12月～2025年4月
財務基盤強化のための長期借入金の返済資金	-	2023年5月～2025年4月
合計	10	

収益獲得が見込める領域の営業力強化、DX関連事業の積極推進については当ファイナンスで不足している部分を自己資金で補い、計画内容・支出予定時期を変更せず計画の実行を予定しております。また、新聞等発行事業の対象エリアの拡張については埼玉エリアの発行休止を判断した経緯から計画を変更し、消費者向けの新規事業開発・初期投資資金として自己資金での支出を予定しております。



## 具体的な取り組み内容（2024年8月期）

前ページで記載のとおり、事業成長のための投資計画は自己資金での計画実行を予定しておりますが、投資計画のスピードを上げ、財務基盤の安定を図るため、また流通株式数を高め流通株式時価総額の上場維持基準を満たすためにも資本政策による資金調達を継続して検討してまいります。

しかしながら、最重要は収益の確保による株価の向上であると捉えており、利益率の改善にコミットしてまいります。

### 企業価値の向上

#### 株価の向上

- ①事業計画の推進
  - ・営業利益の黒字化
  - ・成長事業の売上拡大
  - ・新規サービスの創出
- ②IR・PRの強化
- ③株主還元施策

#### 発行済株式数 流通株式数

- ④資本政策の検討

本資料に関するお問い合わせ  
株式会社地域新聞社 経営戦略室  
Email : k-takatori@chiikinews.co.jp  
<https://chiikinews.co.jp/contact/ir>

■本資料の取り扱いについて

- ・本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標が記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点の仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と異なる可能性があります。
- ・別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- ・当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等について、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。